



京都支部
2023年度支部活動報告



1. <2023. 04. 15 2023年度支部総会>
2. <2023. 05. 31 宇治散策>
3. <2023. 10. 07 2023年度第1回例会>
4. <2023. 11. 30 2023年度第2回(野外)例会>
5. <2024. 01. 07 京都支部交流会>
6. <2024. 01. 21 2024年新年会>
7. <2024. 03. 24 2023年度第3回例会>

1. 2023年度支部総会

2023年4月15日

4月15日(土)ウイングス京都で2023年度支部総会が開かれ、今年度の支部活動を開始しました。最初に久保支部長から今年の活動への抱負が語られました。

2023年度の支部総会に当たり

新緑の美しい時を迎えてここに2023年度の支部総会を迎えることができました。本日は久しぶりに対面で皆様のお顔を拝見することができて本当に嬉しく思います。

昨年度はオミクロン株の第7波の脅威の中でのスタートでしたが、会員の皆様のご協力のもとで無事に充実した活動を終えることができ、ほっとする気持ちとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

やっと5月の連休明けにはコロナもインフルエンザと同等の5類に位置づけされることが決まり、社会的な動きも一気にコロナ前の方向に向かおうとしています。私たち京都支部でも今期は想いを新たにできるだけ皆様に喜んでいただけるような活動を役員会で相談しながら検討していきたいと考えています。

早速6月には近畿グループ4支部合同で2020年以来2回目の「関西在住の国内奨学生のお話を聞く会」の開催を計画しています。ZOOMでの開催ですが、昨年度国内奨学金を受賞された3名の皆さんのお話を伺い、若手の研究者の学業と研究を応援できたらと思います。

京都支部は現在40代の若手から100歳のベテランまで幅広い会員が在籍していますが、皆とても仲良くお互いの立場を尊重しながら自らも成長して活動できていることは素晴らしいことです。今年度もまた新しい会員が入会を予定しています。大学女性協会の会員であることの意義を共有できるお仲間が増えることは嬉しいことですね。

またどうぞ今年度も皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

久保宣子

総会は出席者15名、委任状14名で成立を確認し、2022年度の事業報告、会計決算等が各担当者から報告されました。次いで23年度の支部長に久保現支部長の留任を拍手で承認し、新役員が紹介されました。

支部長：久保宣子

副支部長：松田栄子

書記：島田洋子 名倉素子

会計：西堀和美 高橋侑子

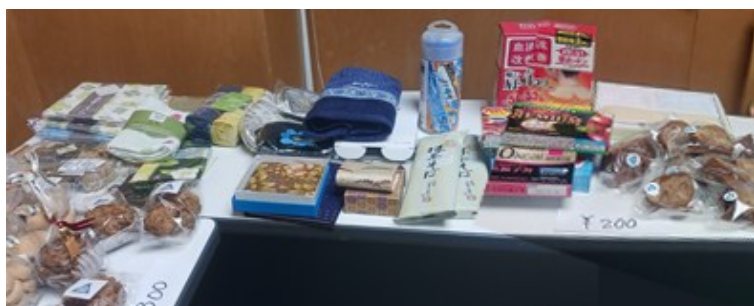
国際委員：辰馬雅子 中川慶子

会員委員：松尾景子

監査：勝目さや子

その後、今年度の事業計画及び会計予算案が承認され、新入会員として丹治栄理さんをお迎えするといううれしいお知らせがありました。最後に島田副支部長から「私たちの支部も高齢化が進み、財政もしんどい状況で、今の日本の現状を映しているようですが、皆様と一緒に楽しく活動していきたいと思っています。」旨の閉会挨拶があり、支部総会を無事に終了しました。なお、例年どおり活動報告の冊子「2023年度活動報告 1年のあゆみ」が配られました。

議事終了後にはミニバザーが開催されました。欠席者からも多くの品が寄せられて約4万円を売り上げる盛況でした。久しぶりの会員同士のおしゃべりと品定めを楽しみながら一時を過ごしました。又同時にトルコ地震支援募金を行い、1万5千円の寄付金を募ることができました。



5月20日(土)～22日(月)、東京で開催されたJAUW全国総会に参加いたしました。

20日は支部長会そして夜は懇親会で全国のみなさまと会食を共にして友情を深めることができました。

21日の総会は全国から71名の出席で熱心な討議の末、無事に第1号議案、第2号議案とも可決されました。

今回は京都支部からの出席は中村、松尾、高橋、松田、久保の5名でした。



22日の研修ランチクルーズには中村、松尾、久保の3名で参加、お天気にも恵まれて美しい東京湾の景色と美味しいフランス料理をたっぷりと楽しみました。



なかなかお会いすることのできない会長他役員会の皆様や全国の会員の方々と身近に親しくお話しできることはとても楽しく貴重な時間でした。来年の総会開催地は未定ですが、是非多くのおみなさまと参加したいと思います。

久保宣子

2. 香港協会の会員と宇治散策

2023年5月21日

5月31日(水)、香港協会理事会メンバーで香港バプテスト大学准教授のJaniceさんを京都支部の会員4名が宇治でお迎えして、日本文化を紹介する機会を設けました。

最初に「お茶と宇治のまち交流館茶づな」を訪ねました。茶畑を目の前にお手前を拝見して一服、その後お茶の入れ方を体験しながら自分で立てた抹茶をもう一服頂きました。



昼食は宇治川のほとりの旅館でお弁当と茶そばを賞味。英語と日本語交じりの雑談に花を咲かせました。



最後に世界文化遺産の平等院を見学しました。池を巡る広い境内の散策と、阿弥陀如来座像を始め宝物の数々を2時間かけてゆっくり楽しみました。長い一日の観光でお疲れではと心配したのですが、Janiceさんは日本語も少し習われたことがあり、古い日本文化に興味を持たれていてとても喜んで下さって、私たちにとってもうれしい一日でした。



講演「生物学から人類の歴史を読み解く」

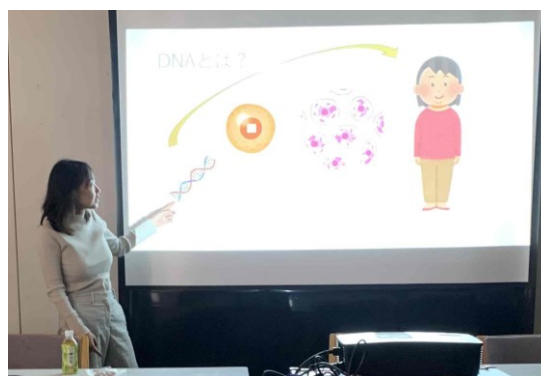
日時 2023年10月7日（土）13：30～15：00

会場 ウイングス京都

講師 阿形亜子氏

出席者 16名

本日の例会講師阿形さんは2020年度の大学女性協会国内奨学生です。その時のテーマは「ネアンデルタール人型GLI3多型と神経発生」でした。現在「京都府立医科大学神経発生生物学研究室」の研修生として活躍される傍ら、「日本AIコンサルティング」で指導・相談とデータ分析にも従事されています。以下、本日の講演の要約です。



昔々、マンモスが居て、その化石となった骨が発見されたとき、考古学者はそっと掘り返して化石となった骨を組み立て、「あーでもない、こーでもない」と推測するだけであった。しかも骨がある現地で、だ。しかし、ここ最近違うのだ。DNA解析という技術のおかげで、その骨や冷凍状態で残っていた皮膚を持ち帰れば、世界中どこの研究室でも、推測ではなく研究が出来るのだ。DNAは4つの要素だけで成り立っているらしく、その4つの配列も再現できるらしい。すごい時代になった。

インディージョーンズが着ている冒険服ではなく、無菌のクリーンルームの中で、宇宙服のような防護服を着てマンモスを研究するのだ。この宇宙服のような防護服は本当に重要で、かつてスウェーデンの古遺伝学者スパンテベボ博士がなんらかの研究を発表したものの、3年後に「あのときの研究結果は間違っていた。因って取り下げる」とまで言った原因は、研究途中に対象物質とは違うDNAが混入していたからであったそうだ。

さて、本日の講師の阿形さんはDNA研究の技術を駆使して研究されているネアンデルタール人の研究者である。勿論ネアンデルタール人をよくご存じだ。5万年前に絶滅したの知ってられる。DNAが教えてくれるらしい。例えば、ネアンデルタール人はホモサピエンスと仲が良くなかったという説は怪しいとか、骨格が違う、頭蓋骨の形が違う、脳の大きさも違って、なんでもGLI3（グリスリー）というDNAが、とか・・・チンパンジーや猿やマウスや牛等々哺乳類と比較すれば、ネアンデルタール人とコアラだけが仲間はずれだという遺伝子配列の話、遺伝子を改変して作った？マウスの脳みそをスライスしたら変わりはなかった話等々・・・

しかし世の中は広いのだ！ネアンデルタール人の集団行動についての研究成果を「是非我が会社で活かしてほしい」、「AIの力で楽しい社会を作る集団行動のアドバイスをしてほしい」というオファーが阿形さんの元に舞い込んだ。海外事業としてウガンダ、モンゴルの教育機関にソフトを入れる会社だそうだ。

本日お話しいただいた阿形さんはまだ若く、生後10ヶ月の坊やも質疑応答の時間には一緒に登場！なんと親しみ溢れる先生でしょう。阿形さん、子育て中の研究者を支援するRPD制度

に応募し、結果神戸大学の大学院研究室への入室、おめでとうございます。どうか、私たち大学女性協会京都支部を忘れないくださいね。そして、又今回の続きを、モンゴルの学生達はどう学んだか、さらに進んだ研究のお話もお聞かせください。



4. 2023年度第2回例会

2023年11月30日

日時 11月30日（木） 12:00～15:30

場所 ホテルザ三井京都 レストラン「FORNI」、二条城

出席者 13名

紅葉の美しい秋晴れの正午、5つ星ホテルの中の素敵なイタリアンレストランに集合。大きな窓から日本庭園を眺めながら、会員同士おしゃべりと食事を楽しみました。



名物の窯焼きピザとスパークリングワインも特別に注文したランチをおいしくいただいた後、目の前の二条城へ。



部屋33室が障壁画で飾られた二の丸御殿をゆっくりと参観し、「次は新年会で会いましょう」と声を掛け合って、楽しい例会を終わりました。

5. 京都支部交流会

2024年1月7日

京都支部交流部会 京響ニューイヤーコンサート

日時 2024年1月7日

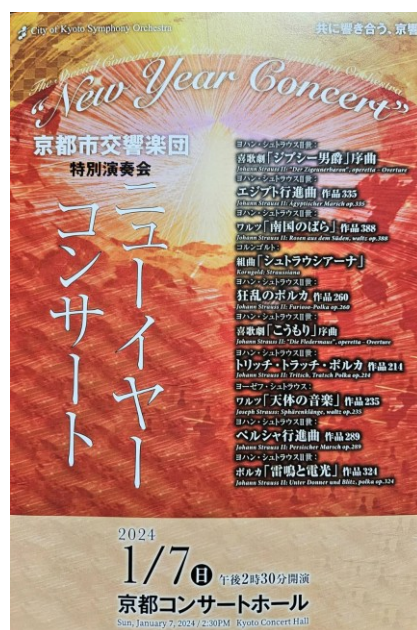
会場 京都コンサートホール

参加者 8名

交流部会はコロナの自粛解禁で、5年ぶりの再開となりました。今回は京都コンサートホールで、年の初めの恒例行事・京響ニューイヤーコンサートを鑑賞しました。長期にわたるコロナ禍や暗く不安定な世相下でのストレスを少しでも和らげられたらと、この特別演奏会を楽しむことにしました。

コンサートでは、ヨハン・シュトラウスⅡの名曲を中心に、ニューイヤーコンサートには外せない曲ばかりを、ウイーン生まれのサッシャ・ゲッツェル指揮で京響が演奏、指揮者の派手なパフォーマンス、女性演奏家のカラフルなドレス、花々で飾られたステージ等ニューイヤーの祝祭にふさわしい明るく華やかな雰囲気の中でしばし至福の時を過ごしました。

コンサート前に有志が進々堂でランチを取り、久しぶりにメンバー間で交流の機会を持つことができました。最後にホール玄関前で全員の記念写真を撮って解散しました



6. 2024年新年会

2024年1月21日

日時 2024年1月21日（日）正午～14時

場所 リーガロイヤルホテル京都

参加者 12名

今年の新年会は、フルーティスト三井奈美さん、ギタリスト水谷和夫さんの演奏で始まりました。聴き覚えのあるカーペンターズの曲やリベルタンゴ等4曲を聴かせて頂き、ライブ演奏の感動が残ったまま、会長挨拶。そして、乾杯のご発声をして下さった中村泰子会員から「老木にも花」という言葉をご紹介頂きました。世阿弥の言葉らしいですが、心響く言葉でした。



その後、ホテルのお心遣い溢れるお食事を頂きました。また、今年元旦に起こった能登半島地震への寄付も募り、2万5千円が集まりました。



今年

日時 2024年3月24日 13:30～

会場 ウイングス京都

講演 「細胞のがん化を誘発する細胞分裂制御機能の異常～v-Src を用いた研究より～」

講師 太田稜子氏 (京都薬科大学大学院薬学専攻博士課程1年)

出席 13名

今回の講演は専門性があまりにも高く正確に理解する事は門外漢の私には不可能であり、無責任な報告となりうる結果を招きたくないので、講演内容の報告は、演者である研究生からのスライド写真を載せます。感想を述べるのであれば、聴講する側の責任を痛感いたしました。少しでいいので、予備知識があれば、聴いても、その後の質問も充実したかもしれません。講師の方も、聴講側の受容範囲が深い方が話甲斐があったのかとも思いました。

我々の研究テーマ

リン酸化による細胞分裂の制御

→ がん化メカニズムの解明
新たながん治療法の探索

生物は細胞から成り立つ

我々生物を構成する
最小単位

細胞

タンパク質が働く条件

リン酸

リン酸

タンパク質 ←→ タンパク質

working! ← sleeping...

① いるべき時に
② いるべき場所で (局在)
③ 働ける状態にいる (活性化する)
ことが大切である。

- 1.細胞分裂について
- 2.細胞分裂異常とがん化との関わり
- 3.c-Srcとv-Srcについて
- 4.v-SrcによるAurora B局在異常を介した細胞分裂異常

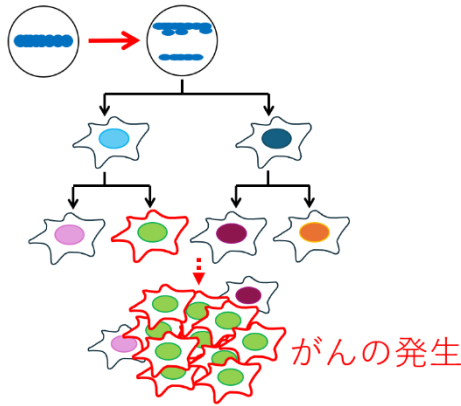
細胞分裂で染色体は等しく分配される

各 → において、数多のタンパク質が正しく働く必要がある

分裂異常は異常な細胞を生み出す

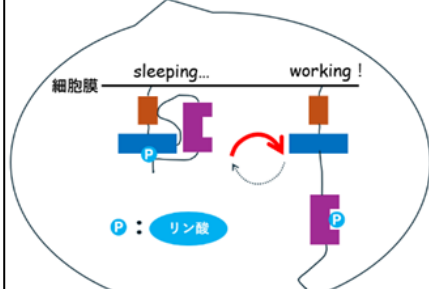
例えば...

分裂異常はがんの発生に繋がらうる



c-Srcのがんにおける異常挙動

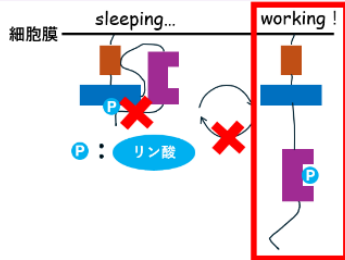
現在乳がんや大腸がんをはじめとした様々ながんにおいて、**c-Srcが過剰に存在したり、c-Srcが異常に活性化した状態**が報告されている



がん遺伝子産物 v-Src

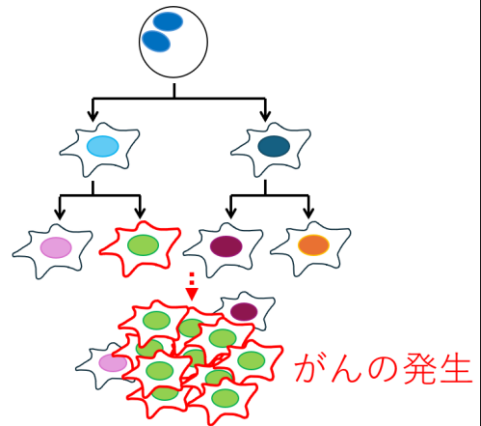
ニワトリのラウス肉腫ウイルスから発見されたがんを引き起こすタンパク質

c-Srcと異なる点:
不活性化に必要なリン酸化部位がないため、**活性化し続けている!**

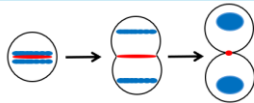


v-Srcが導入された細胞はc-Srcが過剰に活性化した細胞のモデルとして現在多用されている

v-Srcによる分裂異常とがん化



研究課題: v-Src発現細胞で何故Aurora B局在の異常が起こるのか

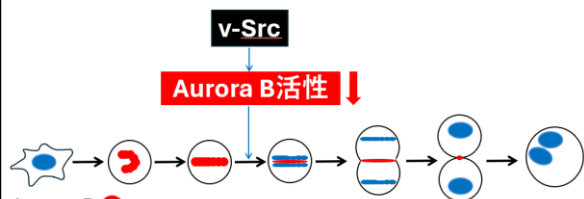


既報にて...
「細胞分裂後半に正常にAurora Bが局在するためには、**Aurora Bの活性化が必要である**」

Molecular Biology of the Cell Vol. 13, No. 4 (2002)

- ➡ v-SrcはAurora Bの活性を低下させることで、局在を異常にしているのではないか?
- ➡ v-Srcが発現した細胞でリン酸化したAurora Bの量を観察したい。
- ➡ ウェスタンブロット

本論文のまとめ



Aurora B ●

結論: v-SrcはAurora Bの活性を低下させることで、Aurora B局在の異常を引き起こす

v-Srcによるがん化機構の新たな一因を発見できた